

宗教と戦争を考える〈5〉

新渡戸 稲造の平和

講師 佐藤 全弘 (大阪市立大学名誉教授)

新渡戸稲造と平和といえば、彼の性格上、どうしても「平和のためのはたらき」に思いは集中してゆく。新渡戸稲造は哲学者ではなく、実地を貴ぶ農学者であった。具体的な民族が、具体的な土地で、具体的な作物（あるいは生物）を育てて日用にあてることにより、その民の生活向上を研究していた。それゆえ、平和についても、彼が具体的にどのように平和（もちろん世界平和）を実践したか、平和の諸領域でどのように働いたか、そして、恐るべき武装に身を飾りながらその重圧から解放される意思すらもとうとしない人類は、これからどういう道筋をたどって平和に至ることができるのか、その難問に心を砕き、その解決を夢見ていた。彼がその平和実現を夢見てから80余年をへた今日、その夢は私たちに様々な示唆を与えることであろう。新渡戸稲造の71年の生涯をとおして、その信仰に裏付けられた平和実践をどう進めたか、具体的にたどってみたい。

日時 2018年 4月21日 (土) 13:30～17:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,300 円、学生 1,000 円 (コーヒー込み)

要申込み 4月18日までに Fax(裏面)、電話、電子メール、WEBフォーム等でお申し込み下さい。

佐藤 全弘 さとうまさひろ

1931年大阪市に生まれる。大阪市立大学博士課程哲学専攻で単位取得。定時制高校で9年教えたのち母校に戻り、西洋哲学・倫理学を講ずるとともに、学外の夜間講座で日本の文学者・キリスト信徒らの思想と信仰を53年講ずる(例えば漱石、鷗外、武者小路実篤、内村鑑三、矢内原忠雄、新渡戸稲造、藤井武)。「新渡戸稲造全集」(第2期・3期全23巻と別巻2巻)編集委員(教文館)。

著書：『新渡戸稲造—生涯と思想』『藤井武研究』(キリスト教図書出版社)、『新渡戸稲造の信仰と理想』、『新渡戸稲造の歩んだ道』など新渡戸関係10冊(教文館等)。『カント歴史哲学の研究』(晃洋書房)など。訳書：J.B. フィリップス『聖書翻訳者の栄光と挫折』(教文館)など。



- ◎スケジュール◎ 13:30～15:00 挨拶・講師紹介
 講演・発題
 15:00～15:30 コーヒーブレイク
 15:30～17:20 質疑とはなしあい
 17:20～17:30 まとめとアンケート記入



2018年度 修学院フォーラム これからの予定

「社会」 第2回 5月12日(土)
 「東アジアの平和と和解—近代日本人のアジア認識と平和の取り組みの可能性」
 講師：山本 俊正（関西学院大学商学部教授）

第3回 6月30日(土)
 「民族主義と普遍主義のはざままで：旧約聖書から国際平和を考える」
 講師：月本 昭男（上智大学教授）

第4回 以降企画準備中

「いのち」 第1回 7月7日(土)
 <老いの日をいかに生き、支えるか 第2回>
 「高度先端医療時代における新たな死の文化」(仮)
 講師：島田 宗洋（救世軍清瀬病院名誉院長）

第2回 以降企画準備中

「福祉」 企画準備中



【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー
 関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

所長 榎本 栄次

担当 都木かおり

【会場へのアクセス】



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

—————2018年度 修学院フォーラム「社会」第1回 参加申込書—————

(フリガナ)			
名前	所属		
住所〒			
電話 ()	—	FAX ()	— 携帯 ()
電子メール:	@		
通信欄:			